

2019センターテスト (B・本試験) 解説

△は特に易しい、▼はちょっと難しいと思う小問。あくまで個人的感想です。

第1問 テーマ史・会話は例年通り。会話のテーマは地名に残る歴史、といったところのだが、設問はむしろ対外交流史。九郎(義経)と静(御前)は笑ったけど、なぜか静さんが先輩。

問1 Xは風土記。Yの按司は知らなくても在庁官人でないことは明白だから大丈夫だろう。

△問2 ①和同開珎→富本銭 ②金座などは江戸時代 ③寛永通宝はもちろん国産

▼問3 古代も初見史料読解。でも注を読めば…。Xは「本国水手」「新羅人の海路を暗ずるもの…を雇いて」だから正文。Yは、「新羅訳語正南」に「商らしむ」だから誤文。

問4 ア：樺太と千島を交換したのでアイヌの強制移住が行われた。

イ：自作農創設特別措置法は戦後の農地改革

問5 I (蠣崎氏) は江戸初期、II (蝦夷地探検) は江戸後期、III (コシヤマイン) は室町。III→I→II。

※「コシヤ」(中世)→「シャクシヤ」(近世)で、あいうえお順。

※念のため近藤重蔵や間宮林蔵も授業しておいて良かったです。

問6 ※写真ではなかったけど『太陽のない街』が出たので、写真集は役に立ったかな、と。

第2問 古代史問題。古墳より古い時代が出たのは珍しい。歴史資料がテーマだが、それが直接設問に関係するのは問5くらいで、まあ普通の問題。

△問1 どの選択肢も文に誤りはない。ただ下線部(金印)に合致するのは②のみ。落ち着くべし。

▼問2 ※岡田山一号墳の鉄剣は授業で言わなかったのでビビったが(教科書にはある)設問に直接関係なくてよかった。

a：中央から派遣するのは国司。国造は地方豪族をそのまま任命。c：伴造が品部や伴を率いたのであって、関係が真逆。センターとしては細かく難しいかも。

問3 aはともかくcの百万塔陀羅尼が分かるかどうか。※これも写真集ちゃんとやってたらラッキー!

問4 Iは奈良時代以前、II(勘解由使)は平安初期、III(受領)は10世紀以降。I→II→III。

▼問5 Xは、中国の元号を知っていることから正文。Yは、「追大弑」「評」という、大宝律令より古い用語が使われていることから誤文(郡評論争を思い出そう)。

問6 ④戸籍が使い物にならなくなったから土地課税になったわけですから。

第3問 中世史問題。ただし最後が南蛮文化に及んでいて、去年同様にやはり織豊期は中世の扱いか。

※テーマは元号で直前予想通りだったけど、例によって設問はあまり関係ない。

問1 イは義満で問題なし。アは「12世紀末」なんだから義家では時代が合わない。問題文に注意!

△問2 ①国司を廃止したら受領層からの成功が入らないじゃないですか。

③荘園が急増するのは院政期。 ④雑訴決断所は建武新政

問3 I(中先代)は建武新政、II(奥州藤原氏滅亡)は平安末期、III(元寇)は鎌倉。II→III→I。

問4 ①は応永の乱、②は応永の外寇。③は迷うかもしれないが、④の寧波の乱が16世紀で時代が明らかに下がるので大丈夫。 ※直前授業で応永年号が35年続いた話をしたのがあまり役にたたなかったなあ。

問5 XもYも普通に正文。Xで「義教は兵を送ったか?」とか考えすぎなければ…。

問6 a・bではbの美濃紙はおとろえていないし、木綿はまだ本格的な栽培が始まってもない(木綿は秀吉の朝鮮出兵で種を持ち帰るまで朝鮮からの輸入品)。

c・dはcの林下が(五山じゃない方の)禅宗。一休宗純の大徳寺とか。

第4問 近世史問題。産業と（実は）文化が中心。今年は幕末は第5問だった。

△問1 aの本阿弥光悦は芸術家、dの小物成は農民への雑税。

▼問2 ②の助郷役が「伝馬役では？」と考えるかもしれないが、①本年貢は村単位で徴収しないと代官が大変だし、③村入用は当然村負担だし、④結・もやい→五人組。他が全滅なので消去法でも②が残る。

△問3 また初見史料問題。Xはメンバーを見れば正文だと分かるし、Yも「承知納得の上」「両邑永々入会の秣場に熟談仕り候」とあって正文。

問4 大田南畝が川柳か狂歌で間違えなければ。井原西鶴が弾圧された話は聞いてません（笑）※山東京伝も強調したばかりだったね。やっぱり江戸文化は大事だね。

△問5 ③は天保改革。※授業、天保改革までやっておいて良かった。

▼問6 今回の最難問の予感。I（二十六聖人殉教）は秀吉だが、II（唐人屋敷の設置）とIII（オランダ商館の出島移転）の前後は特に言わなかった。I→III→II。※まあ「習った順」ですけどね。

第5問 近世近代の問題、と言いながら出ているのは主に幕末から。

問1 ア：摂関廃止は王政復古の重大令。なぜか去年も王政復古が出ている。

イ：大審院は最高裁判所（条約改正を思い出そう）だから、消去法でも元老院になる。

△問2 X：条約に勅許は出ていない。だから「安政の仮条約」。

Y：公武合体（和宮降嫁）を推し進めたのが安藤信正。

問3 ①「江戸城無血開城」だし、江戸城が燃えたのは明暦の大火。 ②新潟→横浜

④東京→大阪。ちなみになぜ大阪かというと、板垣退助が大阪会議で大阪にいたから。

△問4 ③統帥権は天皇大権ですよ～。

第6問 近現代の日米関係史。まさかの戦後4問出題、しかも90年代が日本史B（本試験）に出るのは、たぶん史上初。なお、今回、人物シリーズはなかった。つまらないなあ。

問1 ア：桂・タフト協定は日露戦争時。※夏の講習（爆走）で「なぜかよく出る石井ランシング」と言って強調していたけど、覚えてないかなあ。 イ：フィリピンは米領なので「進駐」する前に戦争になります。

問2 ①は小村寿太郎、②は寺内正毅、③については、降伏文書調印は重光葵だが首相ではない。

問3 ①日朝修好条規ではなく朝鮮併合後。 ②シベリア抑留はアジア太平洋戦争末期のソ連参戦による。

③満州事変で満州国ができたからこそ、大量の満州移民が可能になった。

△問4 ウ：間接統治だから内閣があった エ：ドッジプランはデフレ政策＝緊縮財政

△問5 ②モース→モッセ、しかもドイツ人。モースは大森貝塚だよ。

問6 X：「公安ヲ害スベキ事項ハ何事モ掲載スベカラズ」だから誤文

Y：「同軍ニ対シ、不信若ハ怨恨ヲ招来スルガ如キ事項ヲ掲載スベカラズ」で正文

▼問7 オ：MSA協定は独立後。カ：※沖縄返還＝佐藤って、最後の授業の例題でしたね。

▼問8 a・bは、湾岸戦争にお金を出したのに批判されてPKOに踏み切ったからbが正しい。

c・dは、d（砂川事件）が1950年代の基地反対闘争なのでcが正しい。

※ 正解番号はここ数年続いた「①③が多い」パターンを脱して④が多かった。XY正誤も去年と大きく変わって、①②が各2、③④が各1で、①率が33.3%、正文率が58.3%と2014～15年水準に戻りました。最後の授業は余計だった…。

※ 全国平均ですが、去年が△3▼8で62点でした。今年は△9▼7ですから、65点と予想します。